

事務事業評価の評価結果について（平成26年度の事業に対する評価）

芸濃総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成26年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成27年度以降の事業の方向性	所見
芸濃・地域振興課	地域かがやきプログラム事業（芸濃総合支所）	【北部エリアの事業目的】 都市と地域の住民が共に自然とふれあい、憩い、学び、楽しむ機会を増大させることによって、都市や自然と共存する、健康で活力あるふれあいの里づくりをめざします。 【芸濃総合支所の事業目的】 市民との協働のもと、地域資源を活用したイベント等を通じて、地域の活性化と地域交流を進めるとともに、市民の健康づくりに寄与することを目的とします。	事業数	北部エリアの活性化を図るため、地域かがやきプログラムの事業数を指標とします。	5事業	5事業		当該事業において、地域の活性化を図るために5つの事業を実施しました。	3	事業計画どおり実施され、おおむね目的を達成することができました。	拡充・充実	5事業とも、概ね目的を達成することができました。更なる活性化を図るべく、それぞれの事業内容の検討を行います。
芸濃・地域振興課	地域インフラ維持事業（芸濃総合支所）	住民生活に密着した地域要望等に即答・即応するために、地域住民との協働を果たすことが出来るように事業を推進します。道路、河川、公園及び交通安全施策等、地域インフラの維持修繕に関し、総合支所長の権限でフレキシブルに即時対応を図ります。	要望対応率	市が所有し管理している道路、交通安全施設等、河川、公園の維持・補修に係る市民、地域からの要望に応えた対応の実施率を指標とします。	80%	87%	地域住民からの要望に対する迅速かつ柔軟な対応を推進します。	さまざまな要望に対し、市民や地域に小規模のものは即対応でき実施率も目標値を上回りました。	4	地域要望に対して、総合支所で実施できるものは地域の実情に応じ早期に対応できました。	拡充・充実	地域インフラ維持・修繕について総合支所長の判断により、即対応でき、市民の要求に素早く応えることができました。
芸濃・地域振興課	地域インフラ補修事業（芸濃総合支所）	地域インフラ維持事業と共に、身近な地域の課題や要望の早期解決を図るため、独自の予算措置により地域へ原材料の支給等、公共施設等の簡易な補修、修繕を行い、地域に密着した対応を図ります。	要望対応率	道路、交通安全施設等、河川、公園の補修に係る原材料の地域への支給及び職員が原材料を使って対応できる軽易な修繕・補修で、市民、地域からの要望に応えた対応の実施率を指標とします。	80%	87%	地域住民からの要望に対する迅速かつ柔軟な対応を推進します。	地域の要望に対し、十分に応えることができました。	4	技能員対応による補修作業を実施するなど、地域住民からの要望を迅速かつ柔軟に対応することができました。	拡充・充実	地域インフラの補修について総合支所長の判断により、即対応でき、市民の要求に素早く応えることができました。
芸濃・地域振興課	地域情報発信事業（芸濃総合支所）	市民と地域ならではの話題や情報を共有するとともに、地域の魅力や身近な情報を発信するため指標として設定します。	地域だよりの発行回数	地域の情報を住民に知らせることを目的に発行している地域だより「げいのうかわら版」の発行回数を指標とします。	6回	6回		地域情報誌として2カ月に1回、定期的に発行し目標を達成することができました。	4	定期発行の確実な実施と地域ならではの情報発信や市民が参画できる行事予定の周知ができました。紙面スタイルが固まりつつある中で、より一層読み手の立場に立った改善に努めたいと考えています。	現状維持	地域で活躍する市民にスポットを当てた連載コーナーを掲載することで、市民からの情報提供も増えました。また、地域内の教育施設等にも情報提供を求め、より地域に密着した紙面作成に努めました。

芸濃総合支所

評価：4=できている 3=概ねできている 2=課題克服が必要 1=未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成26年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成27年度以降の事業の方向性	所見
芸濃・地域振興課	総務管理事業	棕本財産区の財産の適正な管理及び地域住民の福祉の向上に努めます。	財産の適正な管理	財産区の所有する山林及び基金の適正な管理			山林及び基金の適正な管理	助成金(繰出金) 30万円と前年度同額にしました。	3	今後も財産区の森林の適正な維持管理に努めます。	現状維持	管理委員と協議のうえ、基金の適正な管理を行っていきます。
芸濃・地域振興課	芸濃総合文化センター管理運営事業（芸濃総合支所）	地域住民の生涯教育の振興を図るとともに、津市全体の文化的な事業の用に供することにより、市民の生活の向上に寄与するため、指標として設定します。	ホール等の利用者数	芸濃総合文化施設の利用者数(体育施設を除く)	28,000人	29,445人		前年度に比べホールの利用者は減少、大研修室の利用者は増加、全体としては、前年度に比べて減少していますが目標は達成できました。	3	適正な維持管理を行うことにより、住民の利用者が増加しました。	現状維持	適正な維持管理を行うことにより、施設の利用者の増加を図ります。
芸濃・地域振興課	体育館管理運営事業（芸濃総合支所）	スポーツを通して市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持管理を行います。 複合施設である津市芸濃総合文化センター内に設置されているアリーナ施設であり、伊勢自動車道芸濃インターチェンジからの交通の便が良いため、中勢地域をはじめ県内の施設利用が見込まれるため、利用者に喜ばれる施設となるよう努めます。	運動施設利用者数	津市芸濃総合文化センター内アリーナ施設の利用者数の合計	36,000人	35,772人		利用者の増加に努めます。	3	適正な維持管理を行うことができました。	現状維持	今後も引き続き適正な維持管理を行い、利用者の増加を目指します。
芸濃・地域振興課	グラウンド管理運営事業（芸濃総合支所）	スポーツを通して市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持管理を行います。 交通の便も良く市内をはじめ近隣市町からの施設利用が見込まれるため、利用者に喜ばれる施設となるよう努めます。	運動施設利用者数	津市芸濃グラウンドの利用者数の合計	8,000人	6,480人		天候不順等により利用者は減少し、前年度比7%の減となり目標を下回ることとなりました。	3	利用者は減少したが、市民のニーズに応じた適正な維持管理に努めました。	現状維持	今後も適正な維持管理を行い、利用者の増加を目指します。
芸濃・地域振興課	テニスコート管理運営事業（芸濃総合支所）	スポーツを通して市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持管理を行います。 交通の便も良く市内をはじめ近隣市町からの施設利用が見込まれるため、利用者に喜ばれる施設となるよう努めます。	運動施設利用者数	津市芸濃テニスコートの利用者数の合計	3,000人	3,185人		前年度に比べて減少となりましたが、目標は達成しました。	3	適正な維持管理ができました。	現状維持	今後も適正な維持管理を行い、利用者の増加を目指します。

芸濃総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成26年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成27年度以降の事業の方向性	所見
芸濃・地域振興課	その他運動施設管理運営事業（芸濃総合支所）	スポーツを通して市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持管理を行います。 武道場として地元中学校をはじめとした利用があり、利用者に喜ばれる施設となるよう努めます。		津市芸濃武道館の利用者数の合計(中学生の利用者数を含む)	6,500人	8,045人			4	従前から芸濃中学校の授業、クラブ活動での利用が主でしたが、平成22年5月策定の「津市スポーツ施設整備基本構想」に基づき、芸濃中学校の教育的な活用を促進するため、平成25年に学校施設への所管換えを行うべく条例の整備を行い、平成26年4月1日以降は学校施設として活用されます。	廃止	学校施設として移管し適正な維持管理を行います。
芸濃・地域振興課	錫杖湖水荘等維持管理事業（芸濃総合支所）	自然豊かな利点を活かした地域の観光振興を図るとともに、青少年等の健全育成に資する施設として管理、運営等を行います。	錫杖湖水荘（レストラン）の売り上げ金額	新メニューの企画を実施することにより、さらに多くの利用客が見込めます。	9,400千円	7,505千円		4月の桜の開花による利用者は回復したものの、梅雨の際のゲリラ的な降雨や台風による降雨により山間部の周辺道路の崩落等から、長期にわたり山間道路が通行止めとなったことにより、特に予約団体客が減少し、レストラン売上げに影響が出ました。	3	支出の減少に努め、より適正な運営管理が実施できました。今後も引き続き、利用者へのPRに努め、利用者数の向上に努めます。	現状維持	更なる支出の減少に向け、臨時職員による運営を基本に体制の見直しを図ります。
芸濃・地域振興課	観光施設等維持管理事業（芸濃総合支所）	自然豊かな利点を活かした観光を振興するため、錫杖湖周辺の環境の維持、管理を図ります。	観光施設の適正な維持管理	錫杖湖畔の観光客の多くは、春の桜や秋の紅葉など四季の変化を期待して訪れることから、自然環境に対する満足度の向上のため指標として設定します。			観光施設の適正な維持管理及び桜のてんぐ巢病の除去	樹木等の維持管理を行い、概ね目標は達成されました。	3	公園内の樹木管理など自然管理など自然環境の維持、管理を行うことができました。引き続き、自然環境を監察し、適切な管理を行います。	現状維持	引き続き自然環境の維持、管理に努めていきます。